

アーツ・チャレンジ過去説明会でのQ&A

① 12階屋外展示スペース

Q. スペースいっぱい（端から端まで）導線・糸などで張ってもいいですか。

A. 通路を大きくふさいでしまうので、できません。

Q. 壁に拭き取れるインクなどで、直接描いてもいいですか。

A. 元の塗料自体、年数がたって劣化しているため、拭き取ったときに、元の塗料がめくれて、鉄がむき出しの状態になってしまう可能性があるため、直接描くことは避けてください。

Q. 今までに、展示の実績はありますか。

A. 「アーツ・チャレンジ 2016」で展示した実績があります。

作品については、ウェブページ (<http://aichi-art.com/arts-challenge/archive/index.html>) で確認することができます。

Q. ガラス部分（美術館吹き抜け部分）への展示はできますか。

A. 不可能です。

Q. 搬入搬出の方法を教えてください。

A. 12階で展示を行う場合は、屋外にあるエレベーターを使用します。

Q. 12階の搬入エレベーターの大きさを教えて欲しい。

A. 屋外エレベーターの内寸は W 3m × D 4m × H 3m です。

② 12階アートスペースG・H

Q. 搬入搬出の方法を教えてください。

A. 1階の搬入口から荷物用エレベーター (H1.8m × W1.5m × D2.3m) で搬入することになります。

なお、作品の大きさが荷物用エレベーターに入らない場合は、人用エレベーター (H2.6m × W1.7m × D2.1m) で搬入出することになりますが、ホール利用者等も利用するため、搬入出の時間帯は調整になります。

屋外のエレベーター (H 3m × W 3m × D 4m) も使用可能ですが、屋上展示スペースを通り人力で作品を運び入れることとなります。雨天の場合、雨の中搬入することとなります。

Q. ピクチャーレールを使用する展示方法が適さない絵画、写真等の展示方法を教えてください。

A. 虫ピンや押しピンで、壁に直接留めることができます (針の太さが 1mm 以内のものに限る。釘、ネジ、ガンカッターは不可)。

Q. アートスペース (展示室) を暗室にしたい。そのため、四方を囲んだ作品を制作することとしたら、

可能か。

- A. 暗室＝暗幕設置などによる全体の暗闇の展示ということであれば、非常灯を隠さなければ、暗室としての利用は可能です。なお、アールスペース G・H は完全暗室ではないため、暗幕をご用意いただく必要があります。

③ 1 1 階展望回廊

Q. 窓の下の凹箇所は、埋めてしまってもいいですか。

A. 養生していただければ埋めても構いません。

Q. 窓側のロールスクリーンは下げられますか。

A. 下げられます。

操作は電動になっており、1ヶ所のみ下げるといったような部分的な操作はできません。

Q. 窓側のライティングについて、外に向けての効果についてはどうでしょうか。

A. 過去にもそういう作品がありましたが、建物の大きさと、人が見える位置までの距離がありすぎて、作品としてあまりライティング効果はありません。

Q. 天井部の小さな張りに作品を引掛けて展示する事は可能ですか。

A. 可能です。ただし、重量等は制限されることになります。

Q. 天井から作品を吊るすことはできますか。

A. 構造的に困難です。

Q. 壁に釘を打ち付けることはできますか。

A. 釘の使用はできません。跡が残らないよう養生等を行い展示してください。

Q. 壁に何か貼ることはできますか。両面テープは使えますか。

A. 虫ピンの使用は可能です。両面テープや、糊跡が残るようなタイプのものは、使えません。

“貼ってはがせる”シールのようなもので現状復帰できるものであれば可能です。ただ、これも作品と状況によるので要相談です。

Q. 壁に埋め込まれている空調のファンコイルの前に作品を展示することは可能ですか。

A. 可能です。

Q. 壁にかかっている、写真の額縁はどのような展示方法ですか。

A. 額縁は、虫ピンで留めています。

Q. 床になにか敷きつめることは、可能ですか。

A. 状況（作品）にもよるので要相談ですが、避難経路を確保したうえで、養生をしていただければ

ば可能です。

Q. ここの展示希望者は多いですか。

A. 人気です。

Q. 展示期間中、空調は入りますか。

A. 空調は入りますが、直接日光が入りますので、設定温度が保てず、夏は暑く、冬は暖かくなります。

Q. 作品展示の入場時間は、何時から何時までですか。

A. 美術館の開館時間と同様、午前10時から午後6時までです。

ただし、芸術文化センターの開館時間が午前9時から午後10時までなので、フォーラム等のパブリックスペースの展示は、事実上、開館時間中であれば観ることは可能です。

Q. 呼び込み看板はありますか。

A. 階段下辺りに設置出来ます。

Q. 搬入出は、階段で・・・との事ですが、事務局の方たちでの手伝いはありますか。

A. 搬入出の手伝いはいたしません。人数の確保も自分たちでしてください。

④10階ホール

Q. 窓を使用しても良いですか。

A. 跡が残らないようフィルムを貼った上でご使用頂けます。ただし、レストランからの景観に配慮してください。不適切と判断された場合、注意を受ける可能性があります。

Q. 天井から作品を吊るすことはできますか。

A. 高さがあるため吊るすことはできません。昇降機はお貸しすることができません。

Q. エスカレーター側のスペースも使用できますか。

A. 通路幅 1.2m を展示スペース内で確保頂ければ使用頂けますが、万一の火災時の避難導線となっておりますので、消防署の了解を得る必要があります。

Q. 屋上庭園の出入口は全て空けなければなりませんか。

A. 一カ所のみで結構です。

⑤2階フォーラム

Q. 人通り、ベンチの移動はしてもらえますか。

A. 人通りは多いです。ベンチは移動します。

Q. 搬入出はどこからするのですか。

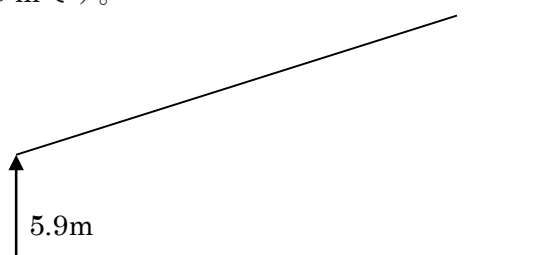
A. 2階は、非常用エレベーターで行います。(B1か1階から)
作品はすべて、非常用エレベーターを使用させていただきます。

Q. エスカレーターの裏側は使えますか。

A. 使えます。シールは不可ですが、マグネットは使用できます。

Q. 2階フォーラムの床からエスカレーターまでの高さはどのくらいですか。

A. 5.9mです。



⑥地下1階フォーラム北側壁面周辺

Q. バトンはいくつ使用可能ですか。

A. 2本まで可能ですが、一番端(入口寄り)の場所は、要相談となります。

Q. バトンは、どこまで下りますか。

A. 下まで下ります。

Q. バトンの長さはどのくらいですか。

A. 2メートル弱です。

Q. 柱は使えますか。

A. 使えます。

Q. 柱にテープで絵画を展示することはできますか。

A. 可燃物のため消防法との兼ね合いで、展示することができません。

Q. 展示中のガラスケースは移動してもらえますか。

A. 移動することはできませんので、現状での展示になります。各角全て使用可能です。

⑦地下1階南側階段上部踊場

Q. ガラス面を使ってもよいですか。貼ったり、直接塗ったりしてもよいですか。

A. ガラス面を使用いただいても結構ですが、直接塗ったり貼ったりはできません。

透明フィルム（クリアシート）でカバーして使用してください。

Q. 風の吹き込み具合は。

A. 2月なので、雨や風、雪につきましても吹き込みはあります。

Q. 掃除はして頂けますか。

A. 出来る限り行います。

Q. 水は使えますか。

A. 地面が湿る程度であれば使えます。

Q. 案内や誘導はありますか。

A. 監視スタッフがいます。

Q. 空調はありますか。自前でストーブを設置できますか。

A. 空調はありません。ストーブの設置は構いませんが、暖まりません。

Q. 展示時間以外はシャッターが閉まりますか。

A. シャッターはありませんが、芸文センターの閉館時間午後 10 時以降は扉が閉まりますので外から入ることはできません。

Q. 照明はもっと明るくなりませんか。

A. 現状が限界です。

Q. スポットライトは使用できますか。

A. 使用できます。他に電源を使用する場合は、事前にご相談下さい。

Q. 作品を吊るすことはできますか。

A. 天井に釘等を打ち込んでの設置は出来ません。

⑧地下 2 階通路展示ケース

Q. ケースのガラスをはずして展示は可能ですか。

A. 原則、ケース内に収まる作品に限ります。

Q. ライトの向き、角度、色は変えられますか。

A. 電球を取り替えることはできますが、向き、角度は変えられません。

Q. 通路展示ケースの内側に釘打ちはできますか。

A. 釘打ちはできません。ケースの内側に合板を貼るなどの工夫が必要となります。

Q. ケースの中の黒の側面、上下面はそのまま使えますか。

A. 使えます。

Q. 壁も使用できますか。

A. できます。ただし、壁に傷が付かないよう虫ピンや指定のマスキングテープ等を使用して下さい。

Q. 黒いベルベットは外せますか。

A. 基本的に現状のままご使用ください。

Q. 土を置いてもいいですか。

A. 土は置いて頂くことができません。

⑨地下2階通路西側

Q. 南側の壁は使用できますか。

A. 消火栓等を避けて頂ければ使用できます。ただし、施設案内のサイン等が多数ありますので妨げにならないよう、基本的には、西側のボックススペースのご使用をご検討下さい。

⑩地下2階フォーラム

Q. 照明を暗くすることはできますか。

A. できません。

また、誘導灯が全く隠れてしまうような高い壁の設置は、消防法上認められない可能性があります。

Q. 展示時間以外は立ち入り禁止の看板を設置することは必須ですか。

A. なくても構いませんが、作品が壊される可能性がありますので、相談の上対応します。

⑪地下2階ビデオルーム

Q. ビデオ設備は使用できますか。

A. スクリーンは使用可能ですが、再生機器、プロジェクター等は出展者側でご用意ください。

Q. 壁面を使用することができますか。

A. 磁石の使用が可能です。磁石は持ち込んでください。

Q. スポットライトを使用できますか。

A. 使用できます。ただし、部屋全体の容量に制限（約 650 ワット）がありますので、ご注意ください。

⑫地下2階連絡通路北側ポスターケース

- Q. ポスターケースの中で作品を吊るすことはできますか。
- A. ケース内の吊り金具を使用して展示が可能です。ただし、軽量の作品に限ります。
- Q. ピンの使用はできますか。
- A. 直接ピンの使用はできません。仮設壁を作るなど養生の上、傷が付かないようにしてください。お持ち込みの磁石のご使用と、奥行きのあるケースは、ピクチャーレールが使用できます。

⑬その他

- Q. 搬入の経路についてお尋ねしたい。2階や地下2階へは、どこから搬入しますか。
- A. 2階や地下2階へ大きな作品を設置する場合は、通常想定される搬入ルート（2階の場合は、搬入口E→11号エレベーター、地下2階の場合は、地下5階駐車場→13号エレベーター）以外の通路を利用することも考えられます。
企画案の選考決定後、個々の作品に応じた経路を検討することになります。
- Q. 高所作業台は使用できますか。
- A. 作品の内容によっては、高所作業台を使用して展示を行う必要がありますので、作業台は主催者側で用意いたします。
- Q. 音量はどの程度まで大丈夫ですか。
- A. 作品が選考された後、キュレーターと愛知芸術文化センターの関係者との打合せ等で決定します。
- Q. 仕込みとバラしはどうすればいいですか。
- A. 選考後に相談の上決定します。基本、制作した物を展示すると考えてください。
- Q. どの段階までの申請が必要なのか。
- A. 実施案の提出をお願いします。
- Q. 作品の搬入方法は。
- A. 事務局から日にちと時間を指定しますので、その日の指定された時間に搬入してください。
- Q. 搬入、搬出などの時の道具は貸してもらえるか。
- A. 基本的にはご自身でご用意ください。
- Q. 搬入、搬出時のゴミの処理はお願いできるのか。
- A. 各自処理をお願いします。
- Q. 各展示スペースの耐荷重量は？
- A. 床の石材が割れない程度の重さ、エレベーターに乗せられる程度の重さにしてください。

Q. 看視スタッフも出展者が手配するのですか。

A. 看視スタッフは、主催者側で手配致します。

Q. ワークショップ形式の出展は可能ですか。看視スタッフにガイダンスをお願いできますか。

A. パブリックスペースでのワークショップは原則として認められておりません。

看視スタッフは作品の見えるところに配置しますが、隣接したスペースでは、複数の作品を看視する場合もあり、常に案内をすることはできません。

どのように作品に関与するワークショップか、具体的な企画については上記のことを踏まえて選考委員会にて判断致します。

Q. 選考委員やキュレーターから直接アドバイスを受けられますか。

A. 企画の選考後、制作・展示を行って頂く方には芸術文化センターで直接キュレーターと打合せを行って頂きます。搬入出時も、キュレーターが立ち会います。

選考委員には、展覧会終了後、報告書内で全体の講評を行って頂きます。

Q. 展示を伴わない移動型のパフォーマンスを週末のみ行うことはできますか。

A. 今回の募集は、展示期間中、来場者がいつでも観賞できる美術作品が対象となります。

Q. 一人（団体）で1つのスペースを使用するのですか。

A. はい。ただし、スペース全体を使用する必要はなく、範囲を区切って展示しても構いません。

Q. 作品の電源は入れてもらえますか。

A. はい。監視員がおりますので、開場時間と終了時間に操作を行います。展覧会終了後、センターの閉館までの間は、電源が入らない状態での展示になります。